

報告事項才

平成27年度第5回鳥取県特別支援学校における医療的ケア運営協議会の
概要について

平成27年度第5回鳥取県特別支援学校における医療的ケア運営協議会の概要について、
別紙のとおり報告します。

平成28年3月19日

鳥取県教育委員会教育長 山本仁志

平成27年度第5回鳥取県特別支援学校における医療的ケア運営協議会の概要について

特別支援教育課

本県の特別支援学校における医療的ケアについて、実施体制の整備と充実に向けた検討をするため、第5回鳥取県特別支援学校における医療的ケア運営協議会を開催しましたので、その概要を報告します。

1 日 時 平成28年3月15日（火）午後2時から4時まで

2 場 所 西部総合事務所

3 主な協議内容

(1) 医療的ケアにかかる諸帳簿の取り扱いについて

【提案】実施要項別紙様式等、医療的ケアに係る諸帳簿の保存年限について各様式等の内容に応じた次の案を提示し、意見を求めた。

実施要項様式		保存年数案	その他の諸帳簿		保存年数案
様式1	実施申請書	5年	保護者との連絡帳		当該年度の最終日に保護者に返還
様式2	指示書	卒後5年	手順書		様式7と一緒に保存
様式3	実施通知書	5年	校外実施記録		様式7と一緒に保存
様式4	実施承諾書	5年	その他		学校における同等の書類を参考に定める
様式5	実施報告	5年			
様式6	看護師勤務記録簿	5年			
様式7	個人別記録簿	卒後5年			

年度末に処分

【意見】

- ・卒後5年保存だと一人分の情報量が多く、保管スペースの問題がでてくる。
- ・手順書は指示書の内容を間違いなく実施することを目的に作成しているものなので、指示書と同様に保存する必要はない。

【方向性】別紙様式の保存年数は案のとおりとし、手順書は医療的ケアの実施の必要がなくなった年度末に処分することとする。諸帳簿の取扱いについては、各県立特別支援学校に通知し、文書管理規定に盛り込んでもらう。また、今後、帳簿の電子化も検討していく。

(2) 医療的ケア啓発リーフレットについて

【提案】医療的ケア実施要項保護者向けリーフレットは作成しているが、別途、鳥取県としてどのように考えて教育における医療的ケアを実施しているのか、県民や保護者に伝えるための啓発リーフレット作成を検討している。啓発リーフレットに盛り込む内容について意見を求めた。

【意見】

- ・鳥取県が目指している教育における医療的ケアのあり方について、明確にする必要がある。

別紙

- ・子どもたちの将来を見据えて鳥取県が取り組んできたことを盛り込んでほしい。
- ・医療現場ではなく、学校で行われる医療的ケアであることが理解されるように伝えていく必要がある。

【方向性】鳥取県の医療的ケアの経緯、学校における医療的ケアの考え方等を示したリーフレット（案）を作成し、次年度の運営協議会で協議する。

【参考】委員等名簿

(1) 委員

氏名	所属
汐田 まどか（しおた まどか）	鳥取県立総合療育センター 副院長
星加 忠孝（ほしか ただたか）	鳥取県立中央病院 小児科医長
勝田 睦子（かつた むつこ）	鳥取県立皆生養護学校 養護助教諭
水田 弘見（みずた ひろみ）	広島県教育委員会特別支援教育課 総括指導主事
田畑 有望（たばた ゆみ）	鳥取県立倉吉養護学校 保護者
仲野 真由美（なかの まゆみ）	鳥取看護大学 准教授
玉崎 章子（たまさき あきこ）	鳥取大学医学部脳神経小児科 助教
森本 靖子（もりもと やすこ）	公益社団法人鳥取県看護協会 専務理事

(2) オブザーバー

氏名	所属
福谷 紀男（ふくたに のりお）	鳥取県福祉保健部子育て王国推進局子ども発達支援課長
河本 史幸（かわもと ふみゆき）	鳥取県立皆生養護学校 校長